



平成二十二年(第八二回)殉職消防職・団員慰霊祭

# 災害の防止と消防活動の安全を誓う

八月二六日 秋田市千秋公園

平成二十二年(第八二回)秋田県殉職消防職・団員慰霊祭が、八月二六日(木)午前十一時から秋田市千秋公園本丸の「殉職消防組員招魂碑」において、秋田県消防協会が祭主となり執り行われた。祭場には四四柱が祀られ、ご遺族の方一六名のほかご来賓、消防協会役員など五一名が参列した。

慰霊祭は、招魂などの神事後、中泉松之助秋田県消防協会長が「近年、国内外において大きな災害が発生しているが、私たちは、四四柱の御霊のご遺徳に報いるためにも、一



題字 初代会長 松野盛吉  
定価 1部 5円  
(購読料は年会費を含む)  
発行人 〒010-0951 秋田市山王四丁目1番2号 秋田地方総合庁舎内 秋田県消防協会 会長 中泉松之助  
電話 018-867-7320 FAX 018-863-5910  
http://www.shoubou-akita.or.jp E-mail:ask@bisquit.ocn.ne.jp

印刷 〒010-0951 秋田市山王7丁目5-29 株式会社 松原印刷社 電話 018-862-8760 http://www.matsubarainsatsu.co.jp

致団結して災害を防止し、地域住民の安全・安心のため最善の努力を尽くすことを謹んでお誓いする」と祭主祭文を奉上了した。堀井啓一秋田県副知事は来賓を代表して「諸霊が身を以て示された崇高な精神と果敢な行動は、本県消防人の誇りであり、今も私たちの心に生き続けている。私たちは、そのご遺志に応えるためにも、今後とも消防力の充実と防災体制の整備に努め、県民の安全と平穏な社会の実現に取り組むことをお誓いする」と慰霊のこトバを述べられた。続いて、中泉会長、鹿角市の花ノ木八重子様(遺族代表)、ご来賓の方々が御霊の冥福を祈って玉串を奉奠された後、送魂の神事が行われ、慰霊祭を終えた。

## ■出席したご遺族

- 北海道旭川市 富永信一様
- 富永富喜子様
- 横手市大森町 藤井俊子様



由利本荘市岩城

- 北海道札幌市 久慈林 美佐子様
- 久慈林 栄司様
- 秋田市泉 石井茂司様
- 横手市駅前町 福田俊雄様
- 由利本荘市高尾 大友千工様
- 湯沢市仁井田 池田益栄様
- 鹿角市花輪 能登美保子様
- 花ノ木 八重子様
- 三ヶ田 君様
- 工藤 昭子様
- 山崎 テイ子様
- 栗山 恵子様
- 池田 貞子様

平成二十二年(第八二回)全国統一防火標語  
「消したかな」  
あなたを守る  
合言葉

## 第二回理事会 秋田県消防協会

秋田県消防協会第二回理事会が八月二六日(木)、秋田市千秋公園の弥高神社社務所で、平成二十二年(第八二回)殉職消防職・団員慰霊祭終了後開催され、理事の推薦や日本消防協会表彰上申などが審議された。

### ■協議事項

①理事の推薦  
去る五月二〇日逝去された理事の田澤清喜美郷町消防団長の後任に、三浦勝二美郷町消防団長が就任することとなった。

②日本消防協会表彰上申  
まとい、表彰旗、竿頭綬などの表彰については、各支部内申のとおり上申することとした。

③秋田県消防協会表彰  
勤続章は、各支部上申のとおり授与することが承認された。

④県消防協会表彰規程の一部改正  
規程の一部改正により、来年度から三〇年以上勤続した会員に功労章が授与されることとなった。

⑤新公益法人制度改革  
最初の評議員の選任に関する規程が承認されたので、秋田県に認可申請することとなった。

# 第一六回 全国女性消防団員活性化奈良大会

|| 来年度は香川県で開催 ||

平城遷都一三〇〇年記念祭でにぎわう「いにしへの都奈良」で、第一六回全国女性消防団員活性化奈良大会が「未来へつづく女性消防団員の絆」をテーマに、七月二十九日、三日の両日、奈良市の「なら一〇〇年会館」で、全国から、本県の一七名を含む二、五〇〇名(奈良県以外の参加者は二、一〇〇名)が参加して開催された。

一〇時三〇分、大会旗の入場により開会した奈良大会は、活動事例発表や火災予防啓発劇、パネルディスカッションなどが行われ、全国の女性消防団員の様々な活動が報告され



た。パネルディスカッションには、本県の鹿角市消防団の奈良日佐子団員がパネラーとして登壇し、機関員として活動していることを報告し、会場に大きな衝撃を与えていた。

午後四時三〇分、大会旗が来年度の開催地香川県に引き継がれた後、会場を「奈良ロイヤルホテル」に移し、午後六時から情報交流会が行われ、全国各地から集った一、四〇〇名の女性消防団員は、名刺を片手に盛んに交流を深めていた。

## 奈良大会プログラム

- オープニングセレモニー
  - 奈良市消防音楽隊
  - 奈良市消防団広報指導分団(カラーガード隊)
- 開会式
  - 大会旗入場
    - 高取消防団 分団長 辰巳京子他二名
  - 開会宣言
    - 大和高田市消防団 分団長 西川悦子
  - 国歌斉唱
    - 主催者・開催地市長あいさつ
    - 来賓祝辞・来賓紹介
- 活動事例発表 (4団体)
  - アトラクション (小学生のバンド)
  - 火災予防啓発劇 (3団体)
  - パネルディスカッション
  - 記念講演 (プロ野球解説者 川藤幸三氏)
- 閉会式
  - 大会宣言
    - 生駒市消防団 部長 中野 幸代
  - お礼のことば
    - 奈良市消防団 団員 下櫻 千絵
  - 大会旗引継ぎ
  - 次期開催地代表あいさつ
  - 閉会宣言
    - 御所市消防団 分団長 弓場久美子

### 活動事例発表

「私はルーマニアから来ました。消防団に入団し、がんばっています。」

高知県中土佐消防団

団員 山本 カルメン

二一年一月二三日夜一〇時、火災が発生し、出動したのを機に、予防活動に力を入れている。一五年前まで実施していた保育園の防火パレードを復活させたり、防火紙芝居を行っている。

「未来へつながる防火教室」

茨城県阿見町消防団

班長 入野 美穂

幼児防火教室は子どもの頃から体

験して覚えさせる実践的な教育ですが、現在では高齢者への防火教室にも取り組んでいる。防火教室には多くの方の思いがたくさん詰まっている。今後も、未来へつながる防火教室を実施していきたい。

「自主防災訓練が実践に」

三重県桑名市消防団

分団長 後藤 昌子

消防新聞の発行やAED布ポスターの作製のほか、毛布を使った担架での応急手当の指導などを行っている。あるマラソン大会でこの毛布担架が一人のランナーを救った。日頃の訓練が実践で活かされた。

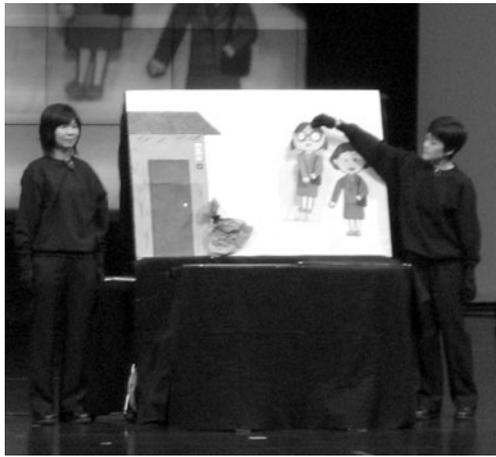


奈良県橿原市消防団

『万葉ひまわり』 防火訪問指導  
愛の劇場

災害予防啓発劇

「男性団員と共に」  
埼玉県川口市消防団  
団員 三隅 美恵子  
平成一四年、女性消防団員の第一期生として採用されたとき、市長から「特別扱いはしない。女性の感性を発揮して下さい」と言われた。月一回の自主訓練は男性と一緒に、火災現場にも出動している。



全国初!! ～不思議体験～動く～光る!!  
現代大型紙芝居『パネルシアター』  
福岡県北九州市戸畑消防団



住宅用火災警報器をつけよう  
嫁姑編  
兵庫県播磨町消防団



多様化する  
女性消防団員活動

パネルディスカッション

- コーディネーター  
日本消防協会  
理事長 秋本 敏文
- アドバイザー  
映画作家 河瀬 直美
- 東京都赤羽消防団  
副団長 小澤 浩子
- パネラー  
奈良県奈良市消防団  
分団長 安田 美沙子
- 長野県下諏訪町消防団女性消防隊  
隊長 両角 真由美
- 愛媛県松山市消防団  
団員 岩崎 沙耶
- 秋田県鹿角市消防団  
団員 奈良 日佐子
- 安田分団長 私たち女性団員三九名

は、広報指導分団に配置され、次の三つのグループに分かれて活動している。

- ・ 幼児高齢者指導グループ
- ・ 応急手当指導グループ
- ・ カラーガード隊



河瀬様 消防団活動に触れる機会がなかった。ラジオ番組も聞く機会がなかった。心温まる活動をされているのに伝わらない。学校教育に取り入れたら地域を愛する人間が育つと思う。

小澤副団長 女性団員の活動タイプが三つに分類されている。

①女性全員を本部付けとし、特定の活動を担わせているタイプ

②本部付けは広報を担当させ、分団付けは基本団員とするタイプ

両角隊長 地域には多くのネットワークがある。このネットワークに参加し、これらネットワークが重層することで災害に強い地域づくりができる。また「こちら消防団情報局」を制作し、消防団と地域の交流を深めている。

岩崎団員 大学生ですが防災サポーターとして、平常時は応急指導員の補助をしている。女性団員には分業制を積極的に取り入れた方が良い。

奈良団員 私は分団に所属し、機関員として現場出動もしている。体力のない女性でも、訓練と工夫によって男性と同じ活動ができる。

③本部・分団双方に配置し、男女とも同じ活動をしているタイプ  
それぞれ、女性の能力にあった活動を  
している。

ちよつとした機会に消防の話題を  
提供できる地域のネットワークへの  
参加や、訪問してみせられる啓発劇  
は効果が大きい。

**秋本理事長** 欧米各国では女性にや  
らせない活動はないが、自ずとその  
分担が決まってきたというようだ。

また、学校教育という観点では、  
少年消防クラブを文部科学省と一緒  
になってやっていこうとしており、  
今後は実践も取り入れたい。

**本県からの参加者**

- 秋田県消防協会副会長 草薨 忠誠
- 鹿角市消防団 団員 奈良日佐子
- 大館市消防団 分団長 奥村 牧子
- 副分団長 横堀 妙子
- 秋田市消防団 団員 堀井 広恵
- にかほ市消防団 班長 須田 典子
- 班長 齋藤 晶子
- 横手市平鹿消防団団員 原 ヨシミ
- 団員 堀田 弘子
- 団員 神原 兆子
- 団員 高橋ノブ子
- 団員 佐野 洋子
- 団員 柴田理佐子



**事務局に寄せられた  
参加者のメッセージから**

**須田班長** 早いもので奈良大会から  
一ヶ月が経とうとしています。私た  
ちは「紙芝居」の上演に向けて活動  
を始めました。私たちの活動として  
自信が持てるように頑張ります。  
**原団員** 誕生から間もない当団では  
ありますが、今年の消防訓練大会で  
初めて軽可搬ポンプ操作を披露しま  
した。今後はさらに活動の範囲を広  
げていきたいと思っています。  
**安保団員** 活動事例を発表した方々  
の活動は「言われたことをやる」の  
ではなく、自分たちで提案して形に  
していました。他県の女性消防団活  
動の活発さに衝撃を受けました。

**第六四期初任教育  
炎暑の中、  
応用訓練も本格化**

秋田県消防学校

第六四期初任教育も残すところ一  
ヶ月を切った。八月は、宿泊勤務や  
先進地視察などの研修が多く組み入  
れられているが、応用訓練も本格化  
し、第六四期生は炎暑の中、真剣に  
取り組んでいる。

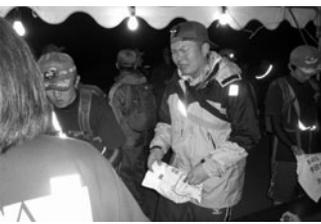
今月号では、これまでの学校生活  
を振り返つての感想文を紹介する。



横手市消防本部  
**小田嶋 理嗣**

今までを振り返って

消防学校での生活も半分が過ぎた。  
今までを振り返ってみると様々な訓  
練や行事を経験することができ、と  
ても充実していたと思う。その中で  
も印象に残っているのは六月五日に  
行われた今日歩大会だ。最初あの長  
い距離を走りき  
れるか不安だっ  
たし、途中バテ  
たり、同じ班の  
仲間が足をつつ  
てしまったりと  
ハプニングはあ  
ったが、大会独



6月5日 今日歩大会

特の楽しい雰囲気や仲間の協力のお  
かげで気持ち良く走りきることが出  
来た。この今日歩大会は一生の思い  
出になると思う。



7月1日 あきた病院実習

またもう一つ  
印象にのこつて  
いるのは七月一  
日にあきた病院  
で行った施設実  
習だ。自分は重  
度の障害を持つ  
人たちのいる

病棟で実習を行ったのだが、障害を  
持った人と接して自分が今健康で生  
きていける幸せや看護師という職業  
がどれだけ大変なのか学んだ。この  
施設実習は、様々なことを学ぶこと  
ができ貴重な体験になった。

消防学校での生活も残りわずかに  
なってしまったが、最後まで気を抜  
かずがんばっていききたい。

●「殉職消防組員招魂碑」清掃●

初任教育入校生は、毎年、秋田市  
千秋公園の「殉  
職消防組員招魂  
碑」を清掃して  
いる。今年も八  
月二四日に行っ  
てくれた。

ありがとうございました。



# 第六回 消防団員 意見発表会(二)



高橋 政介

・湯沢市消防団  
副分団長  
・勤続三〇年  
・建設業

昭和五四年消防団に入団以来、消防団活動に対し真摯に取り組む姿勢は他の模範であり、部下団員からの信望も厚く、消防団活動はもとより、地域のリーダーとして公私共に活躍する姿は人柄ともあいまって地域住民から広く慕われている存在です。

## 「指揮者として」

湯沢市稲庭町は、秋田県の南東端に在り、日本三銘うどんのひとつとして有名になりました「稲庭うどん」の産地であります。

私は昭和五四年に命じられて稲川町消防団団員になりました。

初めのころは規律訓練が始まる人への影に隠れてなるべく出たくないと思いつながら参加したものです。

いま、自分が副分団長になり、実際に指揮をとるようになってくるとどうしたら団員をまとめて、士気を高められるか、考えるようになりました。

仕事で参加できる団員が少なく練習ができない時もありましたが、そんな時は、部長や班長方にお願ひし無理して団員の皆に出てもらい、ようやく練習したものです。

又、消防の役割や訓練の必要について、全員で話し合い様々な意見をまとめながら共通の目的と懇親を深めていきました。

時々酒を酌みながら、夜通し話し合った時もありました。

その効果でしょうか、日が経つにつれて、団員間に仲意識が醸じだされ、自ら練習や消防の行事に参加するようになりました。

何事にも通ずることですが、組織の一員として共通の目的を持ち、人と人の繋がりを強くすることが事を成すための一番の道である事を痛感しました。

その認識に立って自分も指揮者としての心構えを持ち、注意を払いながら平成二〇年市の訓練大会に出場しました。

大会で稲庭分団は、三位といまひとつ奮いませんでしたが、順番で私たちの分団が支部大会に出場することになっていましたので団員全員で市の大会での問題点を話し合い、これを克服して支部大会で優勝して、皆を驚かそうではないかと誓い合い十日間夢中で練習しました。

今までの練習と違い、真剣に取り組む姿をみて頼もしく、胸が熱くなる思いでいっぱいになり、自分にはこれからの勝負だと言ひ聞かせ、大会に向け団員の士気を高めさせ当日を迎えました。

私たちの出場まで皆をリラックスさせて自分を落ち着かせながら刻々と順番が近づき、団員を整列させて身なりを整えて出動しました。

団員を見渡したら皆が落ち着いて余裕すら感じられました。

私も自分の手順を間違えないように号令をかけて、無事に競技を終えほっと胸をなでおろしました。

あとは成績発表を待つだけで閉会式が待ち遠しく感じました。

成績発表で我が分団が規律で優勝、ポンプ操法で三位になり、総合優勝と発表された時みんなが飛び上がって喜びました。

真面目に練習をした甲斐があつて本当によかったと涙が込み上げてきてたまらなかつたことをおぼえています。

機械があたらしくなり、方法も近代化しておりますが、やはり消防活動の原点は、団員同士の信頼と住民を守るという気概だと思ひます。

今後とも、消防活動を通じ安全、安心のまちづくりの推進に、寄与して参る決意であります。



斉藤 洋

・鹿角市消防団  
班長  
・勤続二四年  
・農業

自然豊かな鹿角の里でも特に山間部の農村地域に生まれる。高校卒業後は、長男ということもあり地元に残り農家の後継ぎとなる。最初はあまり興味の無かつた農業も最近では面白くなつてきた。現在は班長として後輩団員の指導に当たっている。

## 「地域とともに」

私の家族構成は、父、母、妻、三歳の男の子と私の五大家族です。仕事は、水田、葉たばこを営む専業農家です。周辺は大抵の家庭が専業農家で、家族が丸となつて野良仕事に追われるという毎日で、休みは雨降りの日だけです。私が消防団に入ったのは二四年前のことです。近所で農業をしている強面のおじさんが「部落の消防団だとも、ずーと家さいるんだべ、そしたらよー、消防団さ入ってけねべが。」と誘われ、私も幼い頃から消防団は見えていました。なぜなら私の家の向かいが番屋だったからです。でも入団するにしても私一人だけだと嫌だと思ひ「俺ばかりか」と聞いたら「なーもおめーば

かりでねー」と言われ、その中には幼い頃からの友人や、知人もいました。これが私の入団のきっかけです。

入団してから番屋では月に一回の消防車の点検や洗車、器具の点検などを行い、その後先輩団員との交流が始まり、時には酒を酌み交わし団員のくつろぎタイムになります。農家の方が多いため、話題はもっぱら米作り、畑、牛の話ばかりだったと思います。私はその頃若かったせいもあり農業には意欲も無く、先輩の話も聞いていない有様でした。何年か過ぎたある日、「今年はずの班が大会に出場する番が来た。」と班長や先輩団員が話していました。私は何のことも良く解らずいつもの様に洗車、器具の点検貯水槽の見回りを団員の皆と行っていました。突然班長に「集合」をかけられ番屋に入るなり「今年の大会に出るから、自分達で選手を決める」の一言で先輩や新入団員の中から選手を決められ、どこの消防団も同じかとは思いますが、若い新団員に先輩団員が混じり一つのチームを作り大会へ挑みます。入団早々に「気をつけ、敬礼、直れ」の規律の訓練が始まり、同じ基本動作、操作を覚えなければなりません。それに慣れたら一番員、二番員、三番員を決めます。私は一番員を命じられ「走れ、走れ」「ホースをもっと投げろ」の毎日が続きました。私は

高校時代野球をしていたため、体力には自身があり、負けん気も手伝い厳しい訓練をこなしていききました。先輩からは重箱の角を突つつくような指摘の中で、逆にそれが私の気持ちに火を付けてくれました。訳もわからず出場した初めての大会、上位を目指しておりましたが結果は五位でした。大会が終わり、四分団の全員に囲まれ「ご苦労様、お疲れ様」、

「まず飲め、飲め、今日はえがた、えがた。」ともてはやされ、気持ちは浮かれっぱなしでした。分団長に、「今日大会に出場して、良かったこと、悪かったことを選手の皆から一言づつ述べよ。」と言われ、私は、「悪いことはありません、良かったことは、訓練でポンプ操作を覚えて火事現場でも消防団員として活躍できるとおもいます。」とはつきり言えませんでした。分団長からは「優勝を目指すことは意義があり大切なことです。ただ私たちの分団はすべての分団員に消防団員として最低限の技術を身に付けさせ、現場で活動できる団員に育てることを目標にしています。」という大変ありがたいお言葉がありました。

何年か前の一二月三十一日に私の部落から火災が発生しました。その時は私が班長に昇格した頃で、冬の寒い年越しの夜でした。牛小屋から出火して、ホースの金具や筒先に手を

触れると凍っているため思うように作業が出来なく、放水を始めると、ダイヤモンドダストが見られました。「かなり寒いな」と言いながら、団員全員に自分の安全には十分に気配りし消火活動するように支持をしました。火災も鎮火し、洗車、器具点検をし、朝方六時頃までかかり、目はシヨボシヨボでしたが、気分は、

消防団員としてやるだけのことはやったという達成感でいっぱいでした。これからも地域住民のために活動する消防団として、仲間とともいつでも火災出動指令がかれば、直ちに出勤する覚悟は出ています。命がけの出動だから訓練も大変ですが、そこで出来る男の絆こそ団員でなければ味わえないものだと思います。今は決して専業農家ばかりじゃありません、サラリーマンも入団しています。現在活躍している団員の皆さん、消防団員であることに誇りを持ち、地域では最高のボランティアであることを信じて、地元を守る意識、数々の先輩方の受け継いできた消防団魂を、今私たちが伝えていかなければなりません。至極当たり前のことですが、地域住民の生命財産を守り、これからも地域の皆様に信頼され、また頼りにされ、慕われる消防団を目指します。最後になりますが、家族の協力も大切です。出勤するときには必ず「気をつけてな」、

「怪我すなよ」と見送ってくれる家族も私には大切な団員です。



藤原 和美  
・大館市消防団 部長  
・勤続一九年  
・農業

J A あきた北の理事として、地元農業のリーダー的存在でもあり、また、合併前の比内町時代から交通指導隊に所属し、現在も大館市交通指導隊として、交通事故の防止に努めている。

忙しい中、自らの暮らす地域を自らの手でつくり、守る活動に尽力されている。

### 「防災は訓練と共に」

私は三〇歳になってから消防団に入団しましたが、実はもともと早く消防に入りたいと思っていました。と言うのも、地域の資機材格納庫、通称「消防番屋」や消火栓、防火用水井戸などが自宅のすぐ後ろにあるのですが、万が一火災が発生した場合、何もできない自分に不甲斐なさを抱いたであろうからです。

しかし、当時はまだ父が現役の消防団員で、一軒の家から二人の団員というのは例が無く、しかも町の条例による団員定数も充足の状態でしたので、自分の思いがすぐに叶うはずありませんでした。



支部情報アラカルト

ぼうさい探検隊

Ⅱ 由利本荘市危機管理課 Ⅱ

八月五日(木)、由利本荘市内の小  
学生を対象とした「ぼうさい探検隊」  
を開催しました。この事業は、市内  
の防災施設を見学し、防災知識を身  
につけ、防災意識の高揚を図ること  
を目的に開催されました。

当日は、三五名の参加者が市役所  
に集合。はじめに、国土交通省子吉  
川出張所へ行き、子吉川の水位状況  
を見るライブカメラの説明や操作方  
法などを教えていただきました。

次に本荘中央防災公園へ。ここで  
は、備蓄倉庫にある非常時の備蓄物



かまどベンチで  
カレーを調理



本荘中央防災公園の  
役割について勉強



大沢川排水機場(ポンパ  
ル)で説明を聞く参加者

資を見学したり、公園内の「かまど  
ベンチ」で実際に煮炊きしたり、有  
事の際のこの公園の役割を認識しま  
した。

次に国土交通省子吉川防災ステー  
ションへ。ここでは、土嚢造成機や  
通信衛星車、照明車などの災害時に  
活躍する大型車両を実際に見て、各  
車両の機能の説明をしていただきま  
した。

最後に、大沢川排水機場(ポンパ  
ル)で、施設の概要や機器の説明を  
していただき、中央防災公園の「か  
まどベンチ」で作った非常食のカレ  
ーライスをみんなで食べ、市役所で  
解散となりました。

子供達は、炎天下の中、各施設で  
興味深く「見て」「触れて」「考え」、  
貴重な体験になったのではないでし

ようか。

この事業は、防災意識の高揚を図  
る上で非常に効果があると考え、今  
後も開催したいと考えております。

この事業の開催にあたり、ご協力  
ご指導いただいた国土交通省の皆様  
本当にありがとうございました。

〔情報提供〕由利本荘支部

火災の発生状況  
速報値

(秋田県総合防災課調べ)

	平成22年		平成21年			同期比較	
	8月	累計	8月	累計	年計	8月	累計
建 物	18	164	12	155	236	6	9
林 野	2	14	0	44	46	2	-30
車 輦	3	19	4	28	44	- 1	- 9
そ の 他	4	41	4	83	97	0	-42
合 計	27	238	20	310	423	7	-72
死 者 数	1	15	1	24	36	0	- 9
負傷者数	7	42	6	31	46	1	11

森田ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

ラビットポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

---

株式会社 協  
株式会社 能代消防センター 立

〒016-0846 能代市栄町12の3  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651